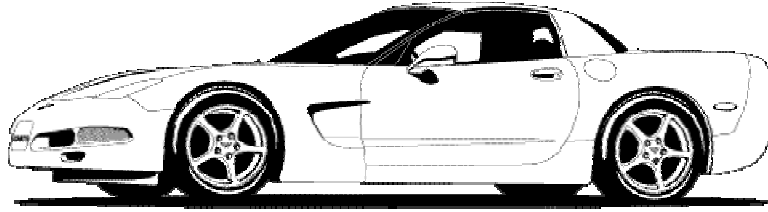


改善箇所説明図



平成16年12月9日届出時の対策（顧客呼び込み前）

制御用コンピュータ (右フロントタイヤハウス内)	コラムロックモジュール (ステアリングコラム上部)	ステアリングロックリレー (助手席フロア前部)



平成17年3月14日以降の対策（顧客呼び込み時）

制御用コンピュータ (右フロントタイヤハウス内)	対策ケーブルキット (助手席フロアフェンダー側)

基準不適合発生箇所

エンジン制御するコンピュータのプログラムが不適切なため、ステアリングロック機構が作動しているにもかかわらず、燃料噴射停止機能が作動しないことがある。そのため、ステアリングロック機構が解除されないまま、原動機を始動し走行を開始した場合、かじ取り操作ができないおそれがある。

＜改善方法＞ 平成16年12月9日届出時の対策（顧客呼び込み前）

全車両、エンジンを制御するコンピュータのプログラムを改良版に更新するとともに、必要に応じコラムロックモジュール及びステアリングロックリレーを対策品と交換する。

＜改善方法＞ 平成17年3月14日届出時の対策（顧客呼び込み時）

全車両、エンジンを制御するコンピュータのプログラムを改良版に更新するとともに、必要に応じ対策ケーブルキットを取付ける。

＜識 別＞ チルトステアリングレバー部に赤ペイントを塗布。

内は、交換部品を示す。